



東地申第2号申し入れ 中野電車区分会

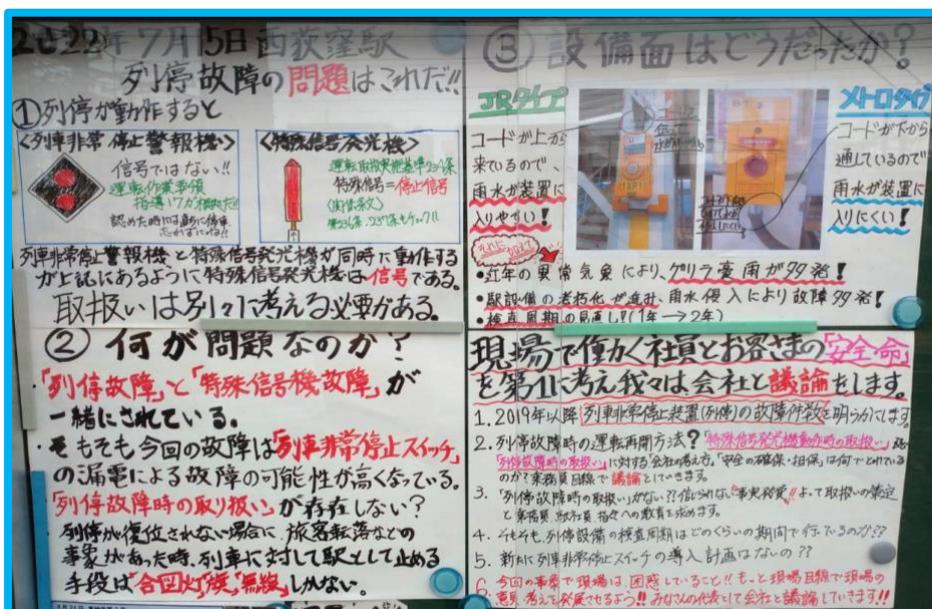
問題解決に向け現場力を発揮!!

2022年7月15日、西荻窪駅で動作した列車非常停止警報装置（列停）が故障し、復位できなくなる事象が発生しました。列車の運転を再開させるため、駅と指令で打ち合わせを行ったうえで「列車非常停止装置故障時の取扱いを行う」として、中央急行線と緩行線ホームに係員を出場させる措置をとり、列停が動作したままの状態での運転を再開させました。

列停の動作にともなう特殊信号発光機の明滅は「停止信号」であり、これを越えて運転を行うということは相応の安全の確保ができる取扱いを行わなければなりません。

この事象について、東京地本は8月24日に東地申第2号「列車非常停止警報装置故障時の取扱い及び機能改善を求める申し入れ」を行いました。中野電車区分会では「現場で働く社員とお客さまの安全・命」を第一に考え、問題点を明らかにしました。

新宿支部は、東京地本と共に「組合員・社員・お客さまの安全・命を守る」ために団体交渉に臨みます。



申し入れ内容など
詳しい情報は
TOKYO MAIL NEWS ^